

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	まつもと市民大学プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	コワーキングスペース Knower(s) tel:0263-34-3710
事業区分	主となる区分:地域協働の推進に関する事業 関連する区分:⑥(オ)その他地域の特色、個性を生かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,230,000 円(うち支援金: 922,000 円)

事業内容

全国的に活躍するゲストを招き、「コミュニティをつなぐコネクターコース」「地域の発信力を高めるクリエイターコース」「地域課題を解決するイノベーターコース」の3コースに分かれて、1日12時間の講座を行いました。講座は前半が講師の講演、後半がチームに分かれてのワークショップで構成され、インプットとアウトプットの両方が行えるような内容にしました。各コースからチームを作り、最終発表イベントまでに各チームで企画・集客を考え、実行することを目標にした。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「とても良かった。短時間でぎゅっと起業という目標を複数人で煮詰める事ができた。また、講師の方の熱量を間近で感じられた。(20代・女性)」

「ゲストの素晴らしい講演だけでなく、具体的なアクションとセットになっている点がとても良かった。(30代・男性)」
などアンケートでも具体的なアウトプットを促すプログラムが好評であった。既に興味のあるテーマで活動を始めようとする参加者が多かった。まつもと市民大学での出会いや学びが信州大学生の自助を活発にする「チーム松本防災」や空き家を利活用した事業づくりなどの活動につながっています。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回の事業を通して、何かを始めるためのコミュニティづくりとロールモデルとなる講師の必要性、実践の場づくりの必要性を改めて感じました。地域で活動したい人が活動を具体化し、加速させていけるような仕組みづくりを継続して行っていきたいと思います。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【活動写真 | 講座】



【目標・ねらい】

- ①起業家、発信力、コミュニティ面でのリーダー育成
- ②能動的に動けるコミュニティづくり、環境づくり

【自己評価】

※自己評価【C】

【理由】満足度の高さからも価値のある内容ではあったが、各コースの価値を伝えきれず、集客に苦戦した。よりメリットや内容がわかりやすい形での発信が必要。